

☆朱一だより

京都市立朱雀第一小学校
Tel 841-3201
校長 林 まゆみ
令和2年3月9日
特 別 号

【令和元年度 後期「朱一いきいきアンケート」結果報告】

1月末に保護者の皆様にご協力いただいた「後期・朱一いきいきアンケート」の結果について、ご報告いたします。アンケートは児童数の503枚をお配りし、482枚の回答をいただきました。回収率は、95.8%でした。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

今回も、保護者の皆様にはご家庭での取組と子どもたちの様子を、教職員には学校の取組と子どもたちの様子を、そして子どもたちには現在の自分を振り返るアンケートを実施しました。全項目の結果を報告するとともに、考察、今後の手立て等をお伝えいたします。

<保護者アンケート結果>



●家庭の取組について●	実現度 (%)			
	よく 出来て いる	大体 出来て いる	あまり 出来て いない	出来て いない
子どもが夢や希望をもつようにしている。	21.3	67.7	11.0	0.0
子どもが読書に親しむようにしている。	17.4	44.2	33.0	5.3
子どもがすすんで家庭学習をするようにしている。	15.3	54.3	27.5	2.9
子どもが友だちを大切にし、仲よくするようにしている。	35.7	61.7	2.3	0.3
子どものよさを認め、ほめるようにしている。	25.3	64.5	9.6	0.6
子どもが自分からすすんで挨拶するようにしている。	23.1	62.1	14.7	0.0
子どもがあきらめないでねばり強く取り組めるようにしている。	13.4	63.4	23.0	0.3
子どもが困った時、誰かに相談するようにしている。	29.7	62.8	7.6	0.0
子どもがきまりや約束を守るようにしている。	23.5	65.7	10.2	0.6
子どもに健康的な生活習慣がつくようにしている。	20.6	62.1	16.5	0.9
子どもが安全に気をつけて生活するようにしている。	36.2	61.5	2.4	0.0
子どもが外遊びなどすすんで運動するようにしている。	19.3	44.2	33.6	2.9

●保護者アンケートより

前期と比べて大きく実現度が上がった項目は、「子どもは授業をよくわかっている」で5ポイントアップでした。家庭学習の取組が7ポイントあがり、ご家庭でも力を入れて取り組んでくださったことが分かります。また、本校学校教育目標にもかかわる「あきらめないでねばり強く」の項目でも子どもの様子が前期よりも2.5ポイント上がっています。学校と家庭が同じ目標をもって子どもたちを育てていくことを今後も大切にしていきたいと思います。

保護者から寄せられたお声の中で今回特に目立ったのは、ゲームやスマホについてでした。「ゲームへの執着が気になる」「you tubeばかり見ている」「ゲームを与えてから外遊びをしなくなった」など、学習や外遊び、また読書への影響が見られるようです。そのような中、「来年度からは部活動に参加させたい」というお声もありました。ゲームやスマホに執着しすぎず、体や心を健やかに育てる豊かな時間をもてるようにするために、何ができるでしょうか。子どもと一緒に何が問題なのか気付くような時間を持つとともに、学校、家庭、地域でも課題を共有化し、連携して取り組んでいくことが大事だと考えます。



●家庭から見た子どもの様子●	実現度 (%)			
	よく 出来て いる	大体 出来て いる	あまり 出来て いない	出来て いない
子どもは、授業をよくわかっている。	20.6	66.1	12.5	0.9
子どもは、夢や希望をもって生活している。	22.6	63.5	13.6	0.3
子どもは、読書に親しんでいる。	21.6	41.2	30.4	6.7
子どもは、すすんで家庭学習をしている。	20.5	43.6	30.1	5.8
子どもは、友だちを大切にし、仲よくしている。	46/1	51.0	2.6	0.3
子どもは、自分のよさに気づいている。	17.9	58.4	23.2	0.6
子どもは、自分からすすんで挨拶をしている。	24.2	47.5	26.2	2.0
子どもは、あきらめないでねばり強く取り組んでいる。	17.8	51.5	28.7	2.0
子どもは、不安や悩みを抱えた時、誰かに相談している。	25.3	62.6	11.8	0.3
子どもは、きまりや約束を守っている。	25.7	60.6	12.5	1.2
子どもは、健康的な生活習慣を身につけている。	25.4	54.8	17.8	2.0
子どもは、安全に気をつけて生活している。	38.9	57.9	3.2	0.0
子どもは、外遊びなど積極的に運動している。	26.7	39.9	27/9	5.6

<教職員アンケート結果>

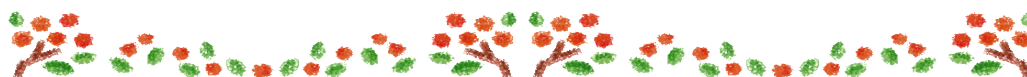
●学校の取組について●	よく 出来て いる	大体 出来て いる	あまり 出来て いない	出来て いない
子どもが夢や希望をもつようにしている。	4.3	91.3	4.3	0.0
子どもが読書に親しむようにしている。	47.8	39.1	13.0	0.0
子どもがすすんで家庭学習をするようにしている。	17.4	73.9	8.7	0.0
子どもが友だちを大切にし、仲よくするようにしている。	26.1	73.9	0.0	0.0
子どもが自分のよさに気づくようにしている。	17.4	65.2	17.4	0.0
子どもが自分からすすんで挨拶するようにしている。	26.1	52.2	21.7	0.0
子どもがあきらめないでねばり強く取り組めるようにしている。	17.4	82.6	0.0	0.0
子どもが困った時、誰かに相談するようにしている。	17.4	78.3	4.3	0.0
子どもがきまりや約束を守るようにしている。	34.8	60.9	4.3	0.0
子どもに健康的な生活習慣がつくようにしている。	13.0	78.3	8.7	0.0
子どもが安全に気をつけて生活するようにしている。	21.7	78.3	0.0	0.0
子どもが外遊びなどすすんで運動するようにしている。	17.4	60.9	21.7	0.0
子どもに分かりやすい授業を行っている。	4.3	87.0	8.7	0.0
ホームページや学校・学年だより等で学校の様子を伝えている。	30.4	60.9	8.7	0.0
整理整頓された学習しやすい環境づくりをしている。	21.7	69.6	8.7	0.0

●教職員から見た子どもの様子●	よく 出来て いる	大体 出来て いる	あまり 出来て いない	出来て いない
子どもは、授業をよくわかっている。	0.0	95.7	4.3	0.0
子どもは、夢や希望をもって生活している。	4.3	78.3	17.4	0.0
子どもは、読書に親しんでいる。	30.4	65.2	4.3	0.0
子どもは、すすんで家庭学習をしている。	0.0	82.6	17.4	0.0
子どもは、友だちを大切にし、仲よくしている。	34.8	65.2	0.0	0.0
子どもは、自分のよさに気づいている。	0.0	82.6	17.4	0.0
子どもは、自分からすすんで挨拶をしている。	4.3	56.5	39.1	0.0
子どもは、あきらめないでねばり強く取り組んでいる。	8.7	82.6	8.7	0.0
子どもは、不安や悩みを抱えた時、誰かに相談している。	0.0	95.7	4.3	0.0
子どもは、きまりや約束を守っている。	21.7	56.5	21.7	0.0
子どもは、健康的な生活習慣を身につけている。	0.0	91.3	8.7	0.0
子どもは、安全に気をつけて生活している。	26.1	65.2	8.7	0.0
子どもは、外遊びなど積極的に運動している。	4.3	69.6	26.1	0.0

●教職員アンケートより

教職員のアンケートで前期より実現度が上がったのが「子どもは、授業をよくわかっている」の項目で、約12ポイントアップでした。習熟度別少人数授業や交換授業を行ったり、またプレジョイント、ジョイントプログラムテストや学力調査を基に児童の傾向を分析し、授業改善を行ったりしてきました。児童のアンケートを見ると、特に中・高学年で「授業がよくわかった」と答える児童が1.5ポイント増えています。しかし、低学年で1.1ポイント、高学年で8.6ポイントと約1割の児童は、授業があまり分からないと答えています。このことを真摯に受け止め、今後ますます授業改善を進めていく必要があると考えます。

次に、教職員の取組で前期より16ポイントも実現度が上がったのは、「あきらめないでねばり強く」の項目でした。まず職種を越えて教職員で話し合い、取組の具体を明確にしました。それから子どもの努力する過程をしっかりと評価し、最後までやりきることで達成感が得られるように指導してきました。それでも苦手なこと



やうまくいかないことに直面すると、すぐにやる気をなくしたり、あきらめてしまったりする姿はまだまだ見られるのが現状です。私たち大人もついつい結果だけに目を向けてしまいがちです。「100点を取ってすごい」「逆上がりができてすごい」などと褒めるのではなく、「苦手なところを何度も練習してすごい」「出来るようになるために先生や友達に聞いて練習していたのがすごい」など努力する姿勢や方法を評価することで、様々な場面で生かすことができる「あきらめないでねばり強く取り組む」力がつき、目標とする結果につなげていくことができると考えます。

最後に、今回のアンケートで見えた課題は「あいさつ」の項目でした。残念なことに実現度が前期より約23ポイントも下がってしまいました。保護者の方からも朝の集団登校の際に声をかけても挨拶をしないというお声が届いています。挨拶がしっかりとできていないことに問題意識をしっかりと持ち、教室での挨拶だけでなく、学校生活の様々な場面において教職員全員で挨拶を大切にする取組を進めていきたいと思います。

<児童アンケート結果>

●低学年（１・２年生）●	よく 出来て いる	大体 出来て いる	あまり 出来て いない	出来て いない
わたしは、授業がよくわかっている。	48.1	40.9	8.4	2.6
わたしは、夢や希望をもって生活している。	69.7	19.1	7.9	3.3
わたしは、すすんで読書をしている。	51.9	30.5	14.3	3.2
わたしは、すすんで家での勉強をしている。	45.5	35.7	14.9	3.9
わたしは、友だちを大切にし、仲よくしている。	72.1	22.7	3.9	1.3
わたしは、自分のよいところがわかっている。	45.8	32.7	14.4	7.2
わたしは、自分からすすんで挨拶をしている。	45.5	29.9	19.5	5.2
わたしは、あきらめないでねばり強く取り組んでいる。	48.1	35.7	13.0	3.2
わたしは、困った時に、誰かに相談している。	49.7	37.3	5.2	7.8
わたしは、きまりや約束を守っている。	60.1	30.7	6.5	2.6
わたしは、早寝・早起き・朝ごはんなど健康に気をつけて生活している。	47.1	32.7	15.0	5.2
わたしは、安全に気をつけて生活している。	81.7	14.4	2.0	2.0
わたしは、外遊びなどすすんで体を動かしている。	63.0	19.5	13.6	3.9

●中・高学年（３～６年生）●	よく 出来て いる	大体 出来て いる	あまり 出来て いない	出来て いない
わたしは、授業がよくわかっている。	39.9	51.5	7.7	0.9
わたしは、夢や希望をもって生活している。	52.7	32.7	12.5	2.1
わたしは、すすんで読書をしている。	34.3	36.1	22.4	7.2
わたしは、すすんで家での勉強をしている。	35.4	37.5	21.4	5.7
わたしは、友だちを大切にし、仲よくしている。	75.7	22.2	1.2	0.9
わたしは、自分のよいところがわかっている。	32.4	36.9	21.7	8.9
わたしは、自分からすすんで挨拶をしている。	42.6	42.3	11.6	3.6
わたしは、あきらめないでねばり強く取り組んでいる。	33.3	47.3	17.6	1.8
わたしは、困った時に、誰かに相談している。	40.1	34.1	18.3	7.5
わたしは、きまりや約束を守っている。	47.0	41.9	9.0	2.1
わたしは、早寝・早起き・朝ごはんなど健康に気をつけて生活している。	29.5	43.8	22.6	4.2
わたしは、安全に気をつけて生活している。	64.6	30.7	4.5	0.3
わたしは、外遊びなどすすんで体を動かしている。	46.6	31.6	15.5	6.3



●児童アンケートより

児童の自己評価で、最もよい結果なのは「友だちを大切に仲良く」、次に「安全に気をつけて生活」の項目であった。どちらも保護者、教職員での取組の実現度が高く、大人の願いが多く子ども達に届いていると言えるのではないのでしょうか。一方で、難しいのは「自分のよいところがわかっている」の項目です。低学年で２割、高学年で３割もの子ども達が「自分のよいところがわからない」と答えています。この結果は前期とほぼ変わらず、取組の難しさがよく分かります。終わりの会で友だちに日頃頑張っているところやすごいところを伝えてもらったり、学校生活の様々な場面で担任をはじめ教職員からほめられたりすることがあっても、アンケートで「自分のよさをわかっているか」と問われて否定的な回答をするのは、なぜでしょうか。日本人は自己肯定感が低いと言われますが、私たち大人も「自分のよさをわかっている」となかなか回答できないのかもしれないかもしれません。他人との比較ではなく、自分と向き合う中で得られる自己肯定感を育てていけるよう、今後も一人一人に寄り添いながら取組を進めていきたいと思っています。

●学校運営協議会理事会で出た意見より

<おわりに>

アンケートへのご協力、ありがとうございました。今回、皆様からいただいたご意見と集計結果をしっかりと踏まえ、学校教育目標「夢をもち いのち輝く朱一の子」の育成を目指してさらに指導・取組の改善を行っていきたいと思います。今後も、ご協力・ご支援の程、よろしくお願いいたします。